

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり
概要	<p>子どもの健やかな成長と安心して子育てが出来る体制の実現のため、子育て世代包括支援センターを設置し、健康診査や健康相談・訪問指導等、妊娠、出産から、育児期を通じた切れ目のない支援の充実を図ります。</p> <p>また、食育の推進や学童期・思春期における保健対策や小児医療費の助成等により、子育てしやすい環境整備を行います。</p> <p>さらに、コンパクトな町ならではの特徴を活かし、地域ぐるみで子育て支援体制を構築することで、すべての家庭が地域で安心して子育てできる環境整備を図ります。</p> <p>また、保育の質の向上と量の確保を図るとともに、子育てに関する講座の開催や相談を通じて、保護者がともに育ち育て合う環境づくりに取り組みます。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	保健サービス推進事業 (No.12)	13	90.4	61.5	30.8	0.0	7.7
(2)	子育て世代包括支援センター (No.14)	2	90.3	0.0	100.0	0.0	0.0
(3)	保育サービス充実事業 (No.15)	5	96.6	80.0	20.0	0.0	0.0
(4)	地域子育て環境づくり事業 (No.16)	2	84.8	50.0	50.0	0.0	0.0
(5)	子育て家庭への支援 (No.17)	2	88.5	100.0	0.0	0.0	0.0
(6)	要支援児童への対応 (No.18)	2	94.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(7)	地域子育て推進事業 (No.19)	2	75.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(8)	放課後児童対策事業 (No.20)	1	98.2	100.0	0.0	0.0	0.0
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・増加するニーズに対応するために、母子保健部門、発達支援関係部門の連携が必要 ・子育て世代包括支援センターについての住民への周知 ・増加する保育ニーズへの対応 ・保育士、まかせて会員(ファミサポ)などの人材確保 						

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	B
	説明	妊娠期から子育て期の包括的な支援を実施出来ているが、多様化し増加するニーズに対応していくためには、母子保健と発達支援部門などの横断的な連携の強化が必要である。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 要検討
意見等	子育て世代包括支援センターとして、子どもの発達状況に応じた包括的な支援が出来る体制づくりの強化が必要である。また、保護者が気軽に利用できるように、取り組みについて周知を行う。		

◎最終評価者[庁内評価委員会]

① 現状維持

② 改善して町が実施

③ 改善して町以外が実施

④ 要検討

意見等

生活の質の向上と定住人口の確保を実現するためには、子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。

今後、さらに推進するために、子育てサロンや一時預かり事業と連携し、多様化する保育ニーズに対応する受け皿の確保に努める。また、子育て世代包括支援センターにおいては、保護者が抱える育児に対する不安が解消できるように、子どもの発達状況に応じた保健師等の専門職の支援や各部門との横断的な連携による包括的な受け入れ体制の強化に努め、子どもの健やかな成長を保護者とともに取り組む体制の実現を目指す。